

# 中央競馬の概況

中央競馬は、日本中央競馬会が全国10の競馬場で施行している。

札幌・函館・福島・新潟・中山  
東京・中京・京都・阪神・小倉

## (売上げの動向)

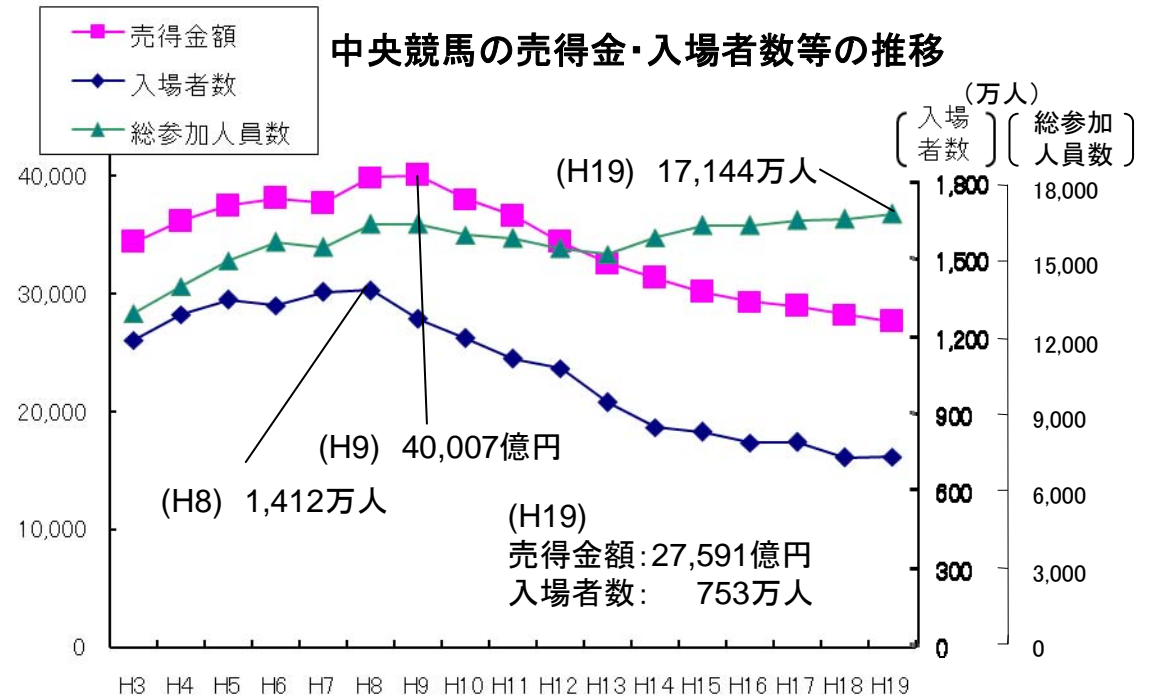
平成19年は2兆7,591億円で、ピーク時(平成9年:4兆7億円の7割程度まで減少するも、近年は、減少割合が鈍化。

この結果、売得金額の10%に相当する2,759億円を第1国庫納付金として納付するとともに、19年度決算により生じた余剰金の50%に相当する104億円を第2国庫納付金として納付した。

## (入場者数の動向)

平成8年の1,412万人をピークに平成19年は753万人まで減少するも、前年に比べ100.3%とわずかに増加。

中央競馬の売得金・入場者数等の推移



※電話投票会員は、71万人(平成8年)から299万人(平成19年)に拡大し、総参加人員は微増。  
【総参加人員：平成8年：1億6737万人→平成19年1億7144万人】